



監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールはこちらをクリック!

--映像で確認したことも踏まえて、前節の栃木戦を振り返って下さい。

「ボールの動かし方やパススピードは群馬戦よりもはるかに良いものを見せていたと思います。ただ相手がより嫌がるような決定機を作るために背後のスペースを使えず、ブロックの外で回すような形となり、相手にとって危険なプレーをあまりできていませんでした。ボールを動かせる試合だからこそ、より決定機を作れるようにしなければなりません。確かにあまりスペースはない状況だったかもしれませんが、そのためにもまず縦パスで相手を引っ張り出して、ラインを上げさせて背後を突く形は狙っていましたし、前半は何度か裏を取る形を作れていました。あとはパスの精度や選手同士のコンビネーションが合えば決定機に繋がる。そういう惜しいシーンは作れていたのですが、そこから先が足りませんでした」

--秋田も栃木と似たような相手です。試合のポイントは？

「キーポイントは彼らのペースにハマらないことです。彼らのスタイルは確立されており、それをブレずに続けてきます。まさに秋田にしかできないサッカースタイルですし、そのスタイルを寸分の迷いもなく貫いてくるチームです。思い出すべきことは、昨季のアウェイでの秋田戦です。非常にバランス良く戦い、ボールを動かすテンポも良かったです。相手に寄せられる前にボールを動かすこともしっかりとできていました。またボディーコンタクトをするデュエルでも相手を上回っていました。試合の立ち上がりにあった(吉尾)海夏の激しいボディーコンタクトは自分たちもこの試合のデュエルでは絶対に負けないといったメッセージになったと思います。ガツンと勢い良く試合に入っていくことは全ての試合で重要ですが、こうしたタフな相手には、余計にその重要性は増すと思っています」

--今節はホームゲームです。ファン、サポーターの皆様へ、メッセージをお願いします。

「まず前節は結果を残せなかったことは非常に残念ですが、栃木には平日のナイトゲームにもかかわらず、あれほどの数の方々が来て下さって大変感謝しています。試合当日は天候にも恵まれるようですし、我々の試合をぜひ楽しんで下さい。J2リーグはどのチームともそんなに大きな差がないリーグですから、一瞬が勝負を分ける試合ばかりです。皆様の力が勝負を分ける瞬間にパワーを与えて下さると思います。また今回も皆様のパワーをお借りしてしっかりと戦い、勝利の喜びを分かち合いたいと思いますので、応援よろしく願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2022
シーズンシート

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

